

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会 第4回競技運営専門委員会 結果概要

1 日 時

平成30年10月18日（木） 13:30～14:30

2 場 所

ウェディングプラザアラスカ 地下1階 サファイア

3 出欠状況

出席者 7名

欠席者 8名

4 議事概要

(1) 審議事項

- ① 第80回国民スポーツ大会審判員・要資格運営員養成計画改正（案）
事務局から説明。原案どおり可決。
- ② 第80回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ会場地市町村第一次選定（案）
（非公開）
事務局から説明。原案どおり可決。

【質疑等】

- ① 第80回国民スポーツ大会審判員・要資格運営員養成計画改正（案）
（委員）
養成数及び資格取得数が増えているが、資格維持・資質向上の数が減っているがなぜか。
（事務局）
競技団体が資格取得を精査したところ取得の年度が後になり、資格維持・資質向上の数が減少した。
（委員）
国スポ開催年に資格取得を予定している競技があるが間に合うのか。また、開催年が0の団体はそれまでに資格取得が終了しているということの良いのか。
（事務局）
競技団体で国スポ開催年の9月までに資格取得できるという判断になっていると思う。開催年が0の団体はそれまでに資格取得が終わっているという認識が良い。

(委員)

今後当該年に間に合わず、前の年に資格を取らせようとした時、その年の資格取得の人数が多くなることもあるのでその場合はあらかじめ人数を少なめにしておいた方が良いのでは。

(事務局)

上級資格は早めに取得していかなければいけないが、資格によっては県内講習会を受講することで取得が可能な場合もあり、競技団体はその辺も考慮して計画しているので大丈夫だと思う。

(委員)

競技力向上委員会の中で、競技団体から計画的に資格を取るようになっているが、国体を控えて仕方が無い部分もあるが、非常に事務処理が増えてきて大変だという意見があり、事務仕事が追いついていない競技団体もあるようだ。

(委員)

この会議に限らず、競技団体は審判員の養成や競技力の向上をしなければいけないので国スポ準備委員会事務局でもそれを念頭において、できるだけ手際よく事務処理ができるようにしていただきたい。

(委員)

バレーボール協会は5名の事務局員が分担して仕事をしている。競技役員の養成に関しては計画通り行う予定だが、若手が地元に定着して資格取得・資質向上をしていくという意味では、前年の審判員の平均年齢を下回ってはいない。現在弘前大学や八戸学院大学の学生に資格取得を促しているが、彼らが7年後に県内に在住しているかは分からない。

(委員)

陸上競技は現在約680名の審判員がおり、内4割強が60歳以上ということで、今後国スポの陸上競技に審判員として参加するかの調査を行いたいと考えている。組織的にはしっかりしているので、今、審判員の養成に関して取り組む必要は無い。

(委員)

サッカーは専務理事及び審判委員会等が修正をかけながら進めているので特に問題は無い。

(委員)

県も審判員の養成については支援して行きたいと考えている。各競技団体も計画通りに進める中で、今後、状況が変わって見直す部分もあると思うが若手を育てて欲しい。